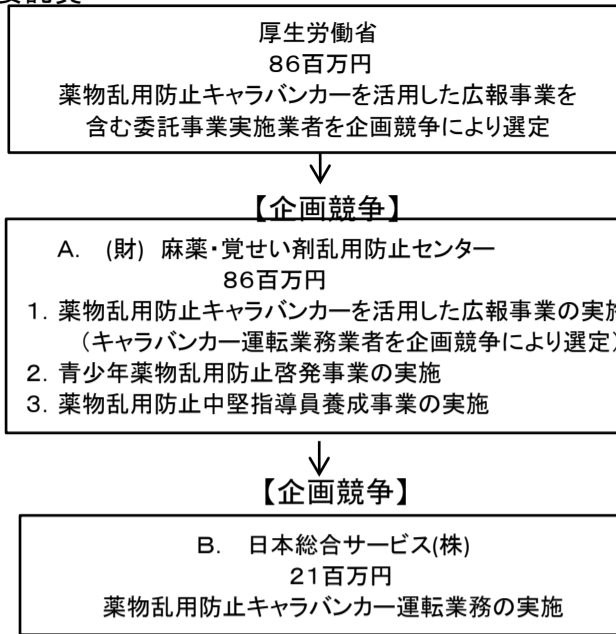


行政事業レビューシート (厚生労働省)

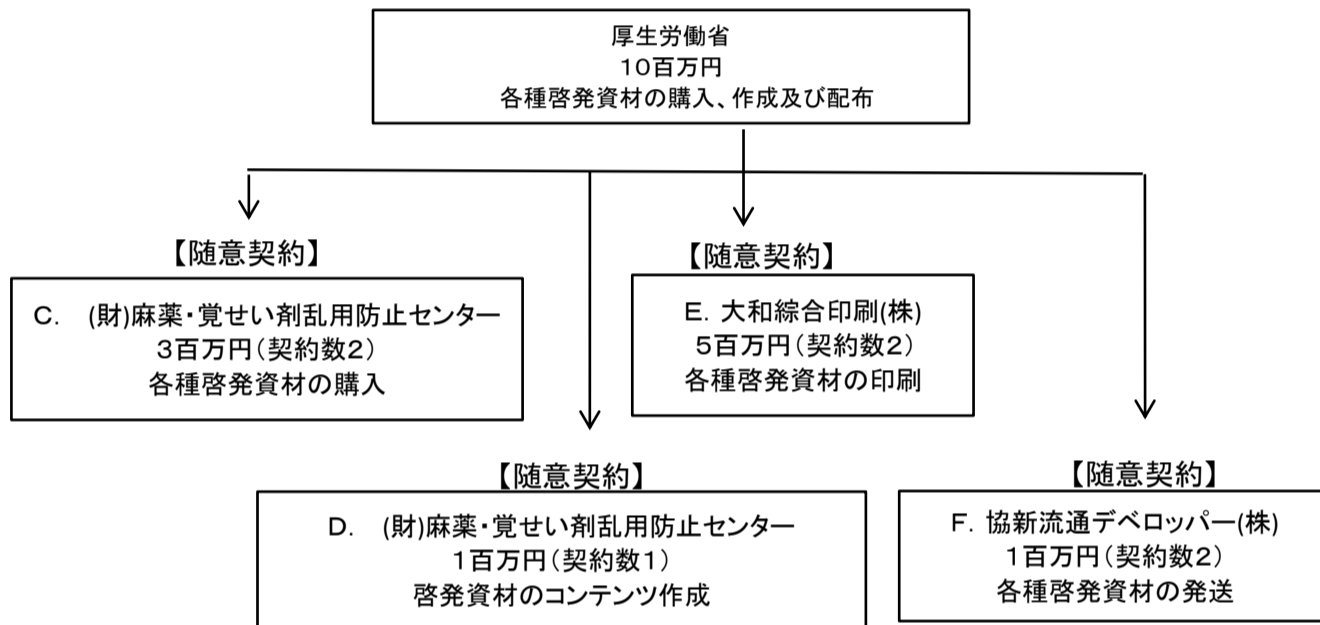
予算事業名	麻薬等対策推進費(広報経費)	事業開始年度	①昭和63年度 ②昭和37年度 ③昭和62年度 ④平成18年度	作成責任者	
担当部局庁	医薬食品局	担当課室	監視指導・麻薬対策課	課長 國枝 卓	
会計区分	一般会計	上位政策	第三次薬物乱用防止五か年戦略 (平成20年8月22日薬物乱用対策推進本部決定)		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止対策事業の実施について(平成11年7月9日医薬発第835号) ・新国連薬物乱用根絶宣言 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要綱 ・麻薬・覚せい剤乱用防止運動実施要綱 ・薬物乱用防止教育の充実について(平成20年9月17日20文科ス第639号) 		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>①覚せい剤等撲滅啓発等委託費 麻薬・覚せい剤等の薬物乱用による危害を広く国民に周知させ、国民一人一人の認識を高めることにより、麻薬・覚せい剤等の薬物乱用の根絶を図る。</p> <p>②覚せい剤防止特別対策費 国連決議による「6. 26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図るとともに、麻薬・覚せい剤等の薬物乱用による危害を広く国民に周知させ、国民一人一人の認識を高めることにより、麻薬・覚せい剤等の薬物乱用の根絶を図る。</p> <p>③薬物乱用防止普及啓発推進事業費 小学校高学年の保護者、中学生、高校生及び未成年労働者等の有職・無職少年のそれぞれの成長段階を対象とした薬物乱用防止についての啓発資材を提供することにより、青少年の薬物乱用傾向を阻止する。</p> <p>④再乱用防止対策事業費 薬物依存症についての正しい知識や、中毒者の家族が頼れる相談窓口、支援施設等を広く周知することにより、薬物中毒者とその家族の負担を軽減し、また、薬物中毒者に対する偏見・誤解等を解消することにより、社会全体で受け入れ、支えることができる環境を作り上げることを目的とする。</p>				
事業概要 (5行程度以内)	別紙のとおり				
実施状況	別紙のとおり				
予算の状況 (単位:百万円)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	別紙のとおり			
	執行額				
	執行率				
総事業費(執行ベース)					
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<p>①覚せい剤等撲滅啓発等委託費 平成21年度は(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターに当事業を委託したところであり、キャラバンカー1台あたり約170箇所の小・中学校等へ派遣を行い薬物啓発活動を実施するとともに、5箇所の対話集会を実施し、東京で行われた薬物乱用中堅指導員研修会には当課職員も出席したところである。</p> <p>②覚せい剤防止特別対策費 啓発用ポスターは(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターが大会毎に作っており、都道府県等への配布用として別のものを新たに作るよりは、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターのものを購入した方が安価である。</p> <p>③薬物乱用防止普及啓発推進事業費 支出の大部分は啓発読本の印刷経費であり、全国の小・中学、高等学校等に配布している。 平成21年度は、中学1年生向け啓発読本の発送について入札を実施することにより、大幅なコストの削減に成功した。</p> <p>④再乱用防止対策事業費 当事業において作成したパンフレットは、各関係機関に配布するとともに、薬物中毒者対策連絡会議においても有効に活用されている。</p>			
	見直しの余地	<p>①覚せい剤等撲滅啓発等委託費 今後は、委託費の中で、キャラバンカー内に設置してある啓発資材のコンテンツ等の改良を行うことについても積極的に指導してまいりたい。</p> <p>②覚せい剤防止特別対策費 パンフレット等の内容については、最新の薬物情勢を踏まえた内容のものにするるとともに、配布部数については、配布先に対して必要最小限の数にする。</p> <p>③薬物乱用防止普及啓発推進事業費 配布する啓発資材については、最新の薬物情勢をふまえた内容のものにするるとともに、文部科学省等関係機関とも協議することにより、質の向上を図っていきたい。また、啓発読本の配布を同一時期にして、一度に競争入札することにより経費の節減を図りたい。</p> <p>④再乱用防止対策事業費 配布先については、毎年配布が必要な機関、数年に一度の配布でよい機関等を仕分けすることにより、配布総数を随時見直す。</p>			
予算・監視の・所効見率化	<p>一部改善(事業を一部見直し、概算要求に反映)</p> <p>麻薬対策は複数の省庁にまたがることから、省庁横断的に麻薬対策事業を整理し、重複している事業を廃止するなど、事業の見直しが必要である。</p>				
補記	<p>関係府省庁により開催した会議において、各府省庁の啓発広報事業の実施状況について意見交換の上検討した結果、平成23年度においては、中学生向け啓発読本を作成する事業を廃止するなど、一部見直しの上要求。また、今後、より効果的な啓発活動を推進するため、啓発手法等の検証のための調査事業を新規に要求。</p>				

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

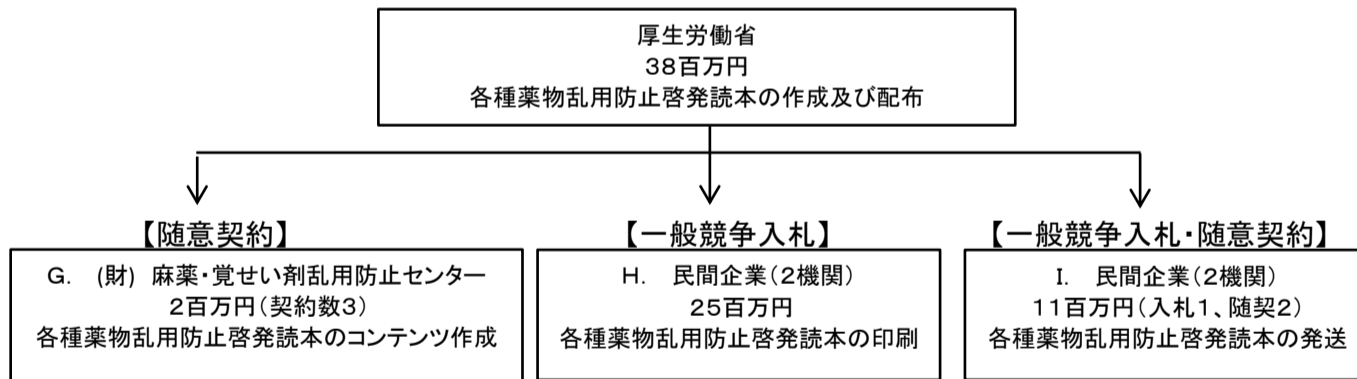
①覚せい剤等撲滅啓発等委託費



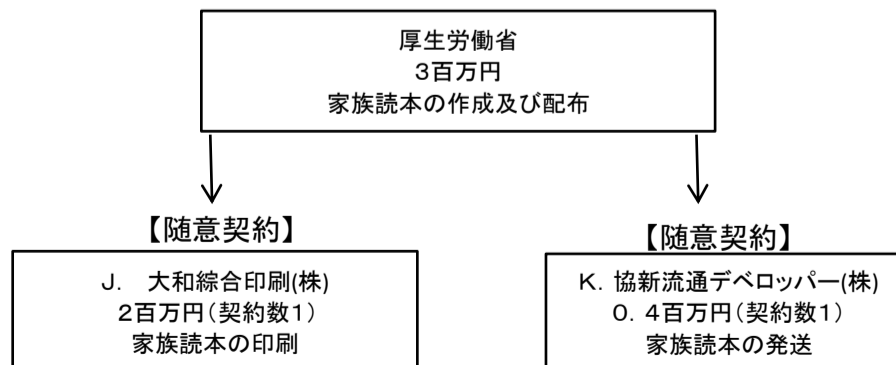
②覚せい剤防止特別対策費



③薬物乱用防止普及啓発推進事業費



④再乱用防止対策事業費



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター			F. 協新流通デベロッパー(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	日本総合サービス(株) キャラバンカー運転業務	21	通信運搬費	各種啓発資材の発送	1
雑役務費	キャラバンカー保守料	19			
人件費	キャラバンカー運行管理業務等	17			
旅費	キャラバンカー説明員旅費、対話集会講師旅費、中堅指導員研修会出席者旅費	10			
諸謝金	キャラバンカー説明員謝金、対話集会講師謝金、中堅指導員研修会講師謝金	5			
自動車維持費	キャラバンカー燃料費、キャラバンカー車両備品費	4			
借料及び損料	キャラバンカー車庫代、対話集会会場借料、中堅指導員研修会会場借料	4			
その他	キャラバンカー保険料、キャラバンカー自動車税、対話集会印刷製本費、中堅指導員研修会印刷製本費等	4			
通信運搬費	キャラバンカー高速代、キャラバンカー電話料	2			
計		86	計		1
B. 日本総合サービス(株)			G. (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	キャラバンカー運転業務	21	雑役務費	各種啓発読本のコンテンツ作成	2
計		21	計		2
C. (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター			H. (株)アイネット		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	各種啓発資材の購入	3	印刷製本費	各種啓発読本の印刷	19
計		3	計		19
D. (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター			I. 協新流通デベロッパー(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	啓発資材のコンテンツ作成	1	通信運搬費	各種啓発読本の発送	7
計		1	計		7
E. 大和総合印刷(株)			J. 大和総合印刷(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	各種啓発資材の印刷	5	印刷	家族読本の印刷製本費	2
計		5	計		2

【事業概要】

①覚せい剤等撲滅啓発等委託費

事業概要	<p>1. 薬物乱用防止キャラバンカーを活用した広報事業 薬物乱用防止キャラバンカーを要請のあった学校等へ専門の指導員とともに派遣し、薬物乱用防止に関する正しい知識の普及を図る。</p> <p>2. 青少年薬物乱用防止啓発事業 地域に根ざした啓発活動を推進するため、各地域情勢を踏まえ、地域住民が参加し、薬物問題をより身近に感じることができる小規模な集会を開催する。</p> <p>3. 薬物乱用防止中堅指導員養成事業 小学校における広報活動の一環として薬物乱用防止教室の講師等を行える中堅的な指導員を養成するための効果的な研修を開催する。</p>
------	--

②覚せい剤防止特別対策費

事業概要	毎年6月20日から1箇月間、全国各地で実施している「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び毎年10・11月に各ブロック単位で地区大会を開催している麻薬・覚せい剤乱用防止運動に必要なポスター、啓発読本等の啓発資材を作成して配布する。
------	---

③薬物乱用防止普及啓発推進事業費

事業概要	<p>以下の部数を作成し、学校等に直接送付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者(小学6年生)向け読本の配布による家庭の場の啓発読本の作成等 ・未成年労働者、児童自立支援施設入所者などの有職・無職少年への啓発読本の作成等 ・MDMA・大麻・違法ドラッグに特化した啓発読本を中学1年生に配布するための啓発読本の作成等 ・覚せい剤・大麻・MDMA・違法ドラッグに特化した啓発読本を高校3年生に配布するための啓発読本の作成等
------	---

④再乱用防止対策事業費

事業概要	薬物依存症についての正しい知識や、薬物中毒者の家族による自助活動及び中毒者の家族が頼れる相談窓口や、中毒者の治療・支援施設等を網羅的に紹介されたパンフレットを作成し、関係機関に配布する。
------	---

【実施状況】

①覚せい剤等撲滅啓発等委託費

実施状況	<p>1. 薬物乱用防止キャラバンカーの運行実績:平成21年度 1台平均170箇所へ運行 1台平均見学者数24,400人</p> <p>2. 対話集会開催実績:平成21年度 5箇所(福岡県田川郡福智町、鹿児島県薩摩川内市、広島県廿日市市、大阪府箕面市、山口県岩国市) 参加者数1,185人</p> <p>3. 薬物乱用防止中堅指導員研修会開催実績:平成21年度 開催日:10月22・23日 参加者数143人</p>
------	---

②覚せい剤防止特別対策費

実施状況	<p>「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 趣意書85,300部、リーフレット1,414,000部、ポスター127,200枚を作成し、関係機関・団体等へ配布。</p> <p>麻薬・覚せい剤乱用防止運動 パンフレット(体験談等)126,565部、パンフレット(薬物乱用とは)226,405部、ポスター57,575枚を作成し、関係機関・団体等へ配布。</p>
------	---

③薬物乱用防止普及啓発推進事業費

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者(小学6年生)向け啓発読本を117万部配布 ・有職・無職少年向け啓発読本を37万部配布 ・中学1年生向け啓発読本を120万部配布 ・高校3年生向け啓発読本を111万部配布
------	--

④再乱用防止対策事業費

実施状況	国立精神・神経センター、地方厚生(支)局麻薬取締部(支所)、都道府県、裁判所、法務省、保護観察所、刑務所、少年院、少年鑑別所、都道府県教育委員会、児童自立支援施設、DARC、全国薬物依存症者家族連合会へ配布した。
------	--

【予算の状況】

①覚せい剤等撲滅啓発等委託費

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算の状況 (単位:百万円)	予算額(補正後)	87	86	86	81	81
	執行額	86	86	86		
	執行率	99%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	86	86	86		

②覚せい剤防止特別対策費

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算の状況 (単位:百万円)	予算額(補正後)	18	18	14	8	8
	執行額	10	9	10		
	執行率	56%	50%	71%		
	総事業費(執行ベース)	10	9	10		

③薬物乱用防止普及啓発推進事業費

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算の状況 (単位:百万円)	予算額(補正後)	45	45	64	55	31
	執行額	38	37	38		
	執行率	84%	82%	59%		
	総事業費(執行ベース)	38	37	38		

④再乱用防止対策事業費

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算の状況 (単位:百万円)	予算額(補正後)	6	6	6	4	4
	執行額	8	3	3		
	執行率	133%	50%	50%		
	総事業費(執行ベース)	8	3	3		